

えほんのおへや通信



2009年12月1日(火)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

今年は暖冬なのか、まだ本格的な寒さに遭遇していません。公園で走り回っていると汗ばむことがあります。気象庁発表の予報では、年末に向けて晴れの日が多い見込みのようです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」12月号の紹介。

こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き

「もりのどうぶつ」

おおたけひでひろ文・写真

ノースウッズの森に住む野生動物は、みないきいきしています。赤ちゃんにとっては、初めて出会う動物ばかりでしょうが、食べ、遊び、眠る動物たちの様子は、まるで赤ちゃんの日常のよう。赤ちゃんのための写真絵本です！



こどものとも 年少版 2～4歳向き

「おいしい かぞえうた」

岸田衿子 文 / 古矢一穂絵

「いちばん すきな いちごミルク」 「にくじゃがも にこにこ たべる」……おいしい食べものが次々に登場する数え歌を、とびきり愉快な絵で描いています。



こどものとも 年中向き 4～5歳向き

「ゆうちゃんの たこやきパーティー」

山田ゆみ子作

日曜日、ゆうちゃんはお父さんとたこやきを作ることにしました。せっかくならたこやきパーティーをしようと友だちに電話をかけると、雷で電話が混線してしまいます。やっと電話がつながってパーティーに誘うと、ゆうちゃんの家に来てきたのは……



こどものとも 5～6歳向き

「まよなかの ゆきだるま」

森洋子作

クリスマスイブに雪が降り、あっちゃんはさっそく雪だるまをつくりました。するとその夜、あっちゃんのつくった雪だるまが窓から呼んでいます。サンタさんのそりが丘の木に引っかかったのです。あっちゃんと雪だるまは、丘に行く道中で出会った雪だるまたちにも助けをたのみ、サンタさんを救出に向かいますが……。



ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き

「とげとげ おなもみ くつつきたーい」

多田多恵子文 / かみやしん絵

「はやく誰か連れていってくれないかな」。とげが自慢のおなもみの実が、枯れ草の中でじっとまっています。誰かがそばを通ったらとげでくつついて、あたらしい土地に旅立とうと待っているのです。ノウサギやイヌが通り過ぎますが、なかなかくつつくことができません。すると…



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「にっこり にこにこ」

著者： 風木一人

画家： 市原淳

1歳から

不安な顔の猫さんも、犬さんも、みんなにこにこ。いちばん最初に赤ちゃんも、表情の変化をテーマに、パターン認識を取り入れた楽しく美しい赤ちゃんの絵本です。



(講談社)

「くろくんとなぞのおぼけ」

なかや みわ さく・え

3歳から

おぼけのしわざ？つぎつぎとほかのクレヨンたちが連れ去られ、とうとうくろくんだけになってしまいました。「ぼく、絶対みんなをさがしてみせるぞ！」くろくんが足あとをたどっていくと…。



(童心社)

【雑感】 「デフレ」と言われています。これはインフレの逆で、物価が下がり続けること。消費者としては「値段が安くなるのは結構なこと」というのが普通の感覚です。供給に対して需要が足りないから値下げ競争になるわけですが、それが続けば企業の収益は落ち込み、結果として設備投資は控えられ、従業員の賃金は下がり、雇用も危うくなる…という悪循環になります。又、最近急激な円高も進んでいます。輸入品の値が下がれば、これまたデフレを加速する恐れがあるそうです。「生活が第一」と政府は言っていますが…不安がありますね。

※絵本の表紙の画像は出版社の許可を受けて掲載しています。